



南小だより

鶴岡市立榎引南小学校
発行日 令和4年11月25日

一人一人が輝いた素敵な「ふれあい祭」でした

3年生による楽しい開会の言葉で、今年のふれあい祭の幕が開きました。どの学年もこれまでの練習の成果を存分に発揮し、観る人聴く人に伝わるようにと一生懸命に発表し、実りの秋にふさわしいとても素敵なふれあい祭となりました。

オープニングは和太鼓クラブの「風神太鼓」。今年も黒井先生から教えていただきながら、クラブの時間だけでなく休み時間も練習に励み、本番のステージでは息の合った力強いバチさばきを披露し、迫力ある演奏を体育館中に響かせてくれました。

3年生は、自分たちでパート練習をがんばって仕上げた合奏や、きれいな高音を響かせての歌、そして元気いっぱいの「よさこい」のダンスを披露してくれました。見ている人を楽しませてくれる、明るい3年生らしい発表でした。

1年生の音楽劇は、歌ありダンスあり、得意なことの披露ありと、一人ひとりの活躍がたくさん見られるとても楽しい発表でした。発表しているときの表情もとても素敵で、入学してから大きく成長した姿に、とても感動しました。

2年生の劇『8ぴきのねこ』は、明るい2年生にぴったりの内容の、とても楽しい劇でした。セリフに合わせた動きや歌の振り付けを自分達で考え、一人ひとりが役になり切って演じ、8人という人数を感じさせないとても素晴らしい発表となりました。

4年生の劇『榎引ぶどう物語』は、総合学習の時間に学んだことを劇にして、できるだけ自分たちの力で練習したり準備を進めたりしました。一人ひとりが役になり切り、長いセリフも上手に言えて、見ごたえのあるとてもいい発表となりました。

5年生は、鶴岡市の音楽交流会で一度発表しましたが、この日は合唱にソロとペアを入れた「ふれあい祭バージョン」の歌を聴かせてくれました。南小伝統のミュージックベルの音色も美しく、聴く人の心に響くととても素敵な演奏でした。

最後を飾った6年生の劇『未来予想図』は、さすが6年生と感じさせる、とても見ごたえのある内容でした。自分の将来の夢をそれぞれの子ども達が演じ、13人一人ひとりが主演となる、思い出に残る素晴らしい発表となりました。

今年はさらに、幕間の時間に子ども達がクイズやゲーム、ダンスなどで会場を盛り上げてくれました。最後には、3年ぶりの全校合唱も行い、『飛び出そう！わんぱくワールド』の歌が体育館いっぱい響き、素晴らしいエンディングとなりました。

感染対策のために様々制限を設けご不便をおかけしましたが、ご家族の皆様からご協力いただいたことに心より御礼申し上げます。また、当日、皆さま方からいただいた温かい拍手や励ましの声は、子ども達にとって何よりの励みになったことと思います。重ねて感謝申し上げます。ここで得た達成感や自信を、これからの教育活動につなげていきたいと思っておりますので、引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。



校長 岡部 貞二